

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間令和6年1月19日
留萌開発建設部

受賞団体決定！「わが村は美しくー北海道」運動 ～留萌ブロックから優秀賞1団体、奨励賞1団体が決定～

北海道開発局は、「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクールを開催し、農山漁村における地域の活性化や、個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動団体として、全道63団体の応募の中から、優秀賞12団体、奨励賞18団体を表彰することを決定しました。

なお、留萌ブロックは、6団体の応募の中から、優秀賞1団体、奨励賞1団体を表彰することを決定しました。

このコンクールは、自然的・社会的・歴史的に特徴のある景観を形成してきた北海道の農山漁村が、より「美しく」あるため、地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動を見だし、これを広く発信し、波及させていくことによって農山漁村の振興に寄与することを目指し、平成13年から、2年に1度開催しています。

今回は、全道10のブロックごとの審査により、各ブロックから選定された団体（優秀賞12団体、奨励賞18団体）を表彰します（別紙1・2参照）。

なお、今回表彰された優秀賞の中から、来年度（令和6年度）の大賞審査により、第11回コンクールの大賞を決定します。

留萌ブロックは6団体の応募があり、優秀賞1団体、奨励賞1団体を表彰します（受賞団体は別紙3、その他の応募団体は別紙4参照）。

優秀賞・・・フレッシュ市場「花菜夢」（遠別町）

奨励賞・・・乳製品加工研究会「美留来のゆめ」（天塩町、遠別町、幌延町）

※留萌ブロックにおける表彰式及び記念品授与式の日時や会場については、後日決まり次第お知らせします。

【「わが村は美しくー北海道」運動とは】

北海道の農山漁村が持つ、かけがえのない地域の資源（景観・地域特産物・人の交流）を守り、次の世代に引き継ぎ、そこに住む人々が誇りを持てる北海道の「わが村」の未来を創っていこう、との思いから生まれた運動です。「地域に住む方々が主体となった地域づくり活動の普及により、北海道の農山漁村全体が豊かになり、活性化をもたらす」ことを基本の考え方とし、地域で活動する団体などを支援しています。

「わが村は美しくー北海道」運動の情報は、以下のホームページに掲載しています。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html



【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部 電話（代表）0164-42-2381

土地改良情報対策官 河田 雅博（内線 277）

土地改良情報係長 伊藤 真奈美（内線 288）

留萌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/rm/>

公式X（旧 Twitter）アカウント @mlit_hkd_rm





Point

- 北海道の農林水産業をより豊かにすることを目指し、平成13年にスタート
- 道内各地で地域資源を活用して地域を活性化しようとする住民主体の活動に対する支援



「景観」の形成

【景観】
地域の特色を活かし、生活と生産に根ざした景観形成活動

魅力ある活力に満ちた北海道

「地域特産物」のブランド化

【地域特産物】
地域で生産される農林水産物及びそれらを主として利用した加工品の生産販売活動

【人の交流】
地域の魅力を高めるコミュニティづくりに結びつく都市及び地域内外の人たちとの交流活動

活発な「人の交流」づくり



- **参加しようー中心となるのは、地域に住む人々**
 - **広げようー活動の輪を大きく、自由に**
 - **伝えようー北海道の「いいもの」を、もっと外へ**
- 「地域の資源」を見つけよう
地域の個性を競い合い高め合い
地域住民の努力と行動に光をあて、広く伝えよう

取組

- コンクールの開催 ← 「地域資源」を見つけ、「いいもの」を多くの人に伝えます
- 地域の魅力を高めようとする地域住民の活動をさらに広く伝えて、その活動を支援し波及させます

第11回「わが村」運動 コンクール

地域住民の活動を支援する一環として、地域で活動する団体を対象にコンクールを開催しています

活動団体

現地調査
優秀賞・奨励賞の選考

表彰式

大賞の選考

大賞表彰式

第10回コンクール 大賞受賞団体

R5年度



北のなのはな会【安平町】

R6年度



ほんべつ豆まかナイト
実行委員会【本別町】

多くの人に伝えるための取組

- HPへ掲載 https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/na/nou_ein/ud49g7000000emhm.html

→活動団体の最新情報を広く発信

- メールマガジンの配信

→活動団体への情報提供

→活動団体の最新情報を発信

- JR北海道の車内誌

→「The JR Hokkaido」への掲載
(JR北海道の協力)

- 地域イベントで活動PR

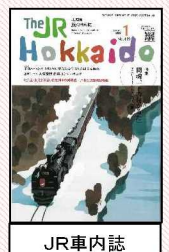
→地域イベントに参加し
団体活動を紹介

- パネル展でPR

(北洋銀行との連携)

- Facebook(フェイスブック)の取組

→活動団体の最新情報を広く発信



JR車内誌



札幌大通でのパネル展

Facebookはこちらの
QRコードからご覧頂けます。





令和 6 年 1 月 1 9 日
北 海 道 開 発 局

「わが村は美しくー北海道」運動第 1 1 回コンクールの受賞団体を決定
～農山漁村地域の活性化に貢献する活動を応援しています～

「わが村は美しくー北海道」運動では、平成 1 3 年から 2 年に 1 度コンクールを開催しており、今回で 1 1 回目となります。

第 1 1 回コンクールには全道から 6 3 件（団体）の応募があり、審査の結果、優れた活動として優秀賞 1 2 団体、奨励賞 1 8 団体を表彰することとしました。

表彰式は、本日以降、随時、受賞団体の応募先である各開発建設部において行う予定ですので、詳細については、該当する開発建設部土地改良情報対策官にお問い合わせください。

○第 1 1 回コンクールの概要について

1. コンクールの応募状況等について

(1) 応募件数

全道 5 6 市町村から 6 3 件（団体）の応募

(2) 審査経過

▶令和 5 年 1 月～令和 5 年 6 月：募集

▶令和 5 年 7 月～1 0 月：全道 1 0 ブロック※での現地調査
(ブロック審査委員会による全応募団体の調査)

▶令和 5 年 7 月～1 1 月：ブロック審査委員会での審査
(現地調査の結果から受賞団体を選考)

※各開発建設部の所管を 1 ブロックとしている。

2. 受賞団体について

(1) 優秀賞※（北海道開発局長表彰）〔1 2 団体〕

※優秀賞：ブロック審査により、活動が優秀と認められた団体を選定。

- ▶ 特定非営利活動法人 山のない北村の輝き（岩見沢市）
- ▶ 元気村・夢の農村塾（深川市、妹背牛町、沼田町、北竜町、秩父別町）
- ▶ にじいろファーム（七飯町）
- ▶ 美国・美しい海づくり協議会/余別・海 HUG くみたい（積丹町）
- ▶ 名寄市立大学援農ボランティアの会（名寄市）
- ▶ ニサナイ大地の会（むかわ町）
- ▶ 北海道中標津農業高等学校 マネージメント研究班（中標津町）
- ▶ 北海道帯広農業高等学校 食品科学科 地域資源活用分会（帯広市）
- ▶ ピロロツーリズム推進協議会（広尾町）
- ▶ 合同会社 びほろ笑顔プロジェクト（美幌町）
- ▶ フレッシュ市場「花菜夢」（遠別町）
- ▶ 社会福祉法人稚内市社会福祉事業団 就労継続支援 B 型事業所 稚内市北光園（稚内市）

(受賞団体名は順不同です)

【別紙2】

(2) 奨励賞※（各開発建設部長表彰） [18 団体]

※奨励賞：ブロック審査により、将来性や継続性から奨励すると認められた団体を選定。

◇札幌ブロック [3 団体]

- ・沼田町産直グループ 愛菜ママ（沼田町）
- ・疏水ほっかい愛護連絡協議会（岩見沢市）
- ・一般社団法人 恵庭青年会議所（えにわハッピーハロウィン実行委員会）
（恵庭市）

◇函館ブロック [2 団体]

- ・ハコダテフィッシャーマンズ（函館市）
- ・一般社団法人 福島町まちづくり工房（福島町）

◇小樽ブロック [1 団体]

- ・しりべし女子会（後志管内）

◇旭川ブロック [2 団体]

- ・辰巳農園（上川町）
- ・JA ふらの女性大学（富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村）

◇室蘭ブロック [2 団体]

- ・壮瞥町オロフレ地熱利用野菜組合（壮瞥町）
- ・合同会社 自然農業社（壮瞥町）

◇釧路ブロック [1 団体]

- ・みんなの景観なかしべつプロジェクト（中標津町）

◇帯広ブロック [3 団体]

- ・株式会社 地恵贈（池田町）
- ・北海道本別高等学校 豆乳クレンジングジェル班（本別町）
- ・北海道士幌高等学校 乳加工専攻班（士幌町）

◇網走ブロック [2 団体]

- ・株式会社 滝上町和ハッカ・ラボ（滝上町）
- ・つべつ豆のわ！！プロジェクト（津別町）

◇留萌ブロック [1 団体]

- ・乳製品加工研究会「美留来のゆめ」（天塩町、幌延町、遠別町）

◇稚内ブロック [1 団体]

- ・北海道豊富高等学校ボランティア部（豊富町）

（受賞団体名は順不同です）



【別紙3】



直売会の様子（新鮮野菜・鉢花求めて大盛況）

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体 フレッシュ市場「花菜夢」 【遠別町】

販売活動を通して生産者と消費者の交流「遠別の農産物をPR」

【はじまりは？】

「遠別の農産物のおいしさを町内・外の方に知っていただくことや、農産物の価格・消費の低迷による個人所得の減少」などが続き「私たちにも何かできることはないだろうか？」とみんなで話し合った結果、JAるもい女性部の取組の一環として「安全・安心なおいしい農産物の提供」を目的に平成14年から開始しました。道の駅「えんべつ富士見」の一角でスタート、それから22年を経て現在ではすっかり定着し、遠別の農産物・遠別町のPRはもとより、令和2年4月にリニューアルオープンした道の駅「えんべつ富士見」の集客に貢献しています。

【おもな活動】

フレッシュ市場「花菜夢」は6月中旬から10月中旬にかけて、生産者が朝、収穫したばかりの新鮮野菜や花などを道の駅「えんべつ富士見」の一角で直売しており、消費者の立場に立った低価格で提供しています。平成18年からは、町内の小中学校・幼児センターに給食を供給する「遠別町給食センター」へ農産物の提供を行っており、地産地消の取組にも一役買っており、平成19年からは「Aコープえんべつ」で「もぎたて市」を開始したほか、札幌市などで開催される各種フェスタにも積極的に参加し、遠別町のPRにも繋がっています。

【ここが自慢】

フレッシュ市場「花菜夢」は令和5年で22年が経ち、売上実績も当初に比べて、約7倍程度と飛躍的に伸びています。今後も農産加工・流通・ブランド化など6次産業化も踏まえ、事業に取り組むとともに、消費者の方に「安全・安心」して購入していただけるよう農産物の管理を徹底し、町内・外の多くの方に「遠別産農産物」を食していただけるよう、頑張っていきたいです。



花菜夢メンバー

連絡先

代 表 者 名 : 松澤 米子さん／設立：2002年／会員：17名

住 所 : 天塩郡遠別町字久光1023番地

電 話 番 号 : 01632-7-3596

F A X : 01632-7-3596

E-mail :

U R L :



天塩町
遠別町
幌延町



乳製品加工研修
モッツアレラチーズづくり

【別紙3】

乳製品加工研修
ゴーダチーズづくり



「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体 乳製品加工研究会「美留来のゆめ」 【天塩町、遠別町、幌延町】

ミルクのある「美」しい「留」萌に「来」てほしい

【はじめは？】

『美留来のゆめ』は、「自分たちが搾った牛乳を自分たちの家庭で楽しみたい」「乳製品の研究や利用方法を検討し酪農の魅力を見つめ直したい」という思いから、牛乳の加工研究と親睦を目的に天塩町・遠別町・幌延町の酪農家により結成されました。会の名称には、ミルクのある「美」しい「留」萌に「来」てほしいという願いが込められています。

【おもな活動】

主な活動として、自家産の生乳を使ったチーズやアイスクリームなどの乳製品加工研修を年10回程度行っています。また、チーズづくりに関する見聞を広め、新たな乳製品加工のヒントを得るため、道内のチーズ工房を巡る調査を年1回行っています。そのほか、乳製品加工技術や衛生管理に関する研修会などを随時開催し、スキルアップを図っています。酪農家ならではの食の楽しみの幅を広げ、地元の消費者や小中学生、道外の修学旅行生、海外からの技能実習生などへの食育活動も行っています。



海外実習生に対する
アイスクリーム加工体験

【ここが自慢】

会員相互の親睦を図ることも目的の一つで、現在30～70代と幅広い世代の会員が在籍し世代を超えた交流を楽しんでいます。

特に近年は結婚を機に農村に移り住んだ若い女性農業者たちが地域社会に溶け込む交流の場としても機能しており、若手会員にとって酪農技術や生活の知恵を得ることができるほか、ベテラン会員にとっても伝統や技術を伝承し生きがいに繋がるなど、相互に“Win-Winの関係”を築けています。さらに、母親同士の交流も増え、育児面でのサポートが得られるなど、住みやすい農村環境へ進化しています。

今後も「酪農にもう一つの楽しみを」をモットーに、世代間交流を楽しみながら活動を広げ、酪農の魅力を次世代に伝えていきます。

連絡先

代 表 者 名 : 中村 美幸さん／設立: 2000年／会員: 6名

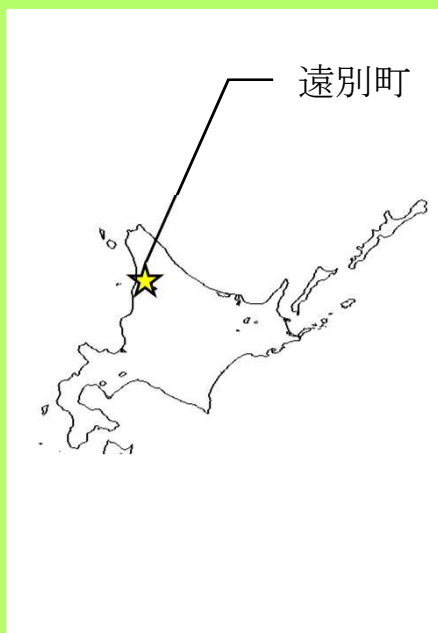
住所(連絡先): 苫前郡幌町南6条2丁目16-4留萌農業改良普及センター(事務局)

電 話 番 号 : 0164-62-1779

F A X : 0164-62-2474

E-mail : rumoi.nakanoukail@pref.hokkaido.lg.jp

U R L :



もち米玄米醤油の製麹

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体
北海道遠別農業高等学校

【遠別町】

もち米玄米醤油の開発、水稻栽培をとおした小学校との交流

【はじめは？】

遠別農業高校では地域との技術交流、流通や栽培の課題をプロジェクト学習のテーマとして取り上げ活動を行っています。遠別町は水稻最北の地としてもち米が盛んに栽培されており、遠別農業高校においても、もち米「風の子もち」の栽培をとおして、作物の生理や管理方法、加工を実践的に学習しているところです。

水稻栽培の多面的機能を効果的に発揮し、地域に還元することで、遠別町全体の活性化と持続可能な地域を目指して活動を展開しています。

【おもな活動】

遠別農業高校農産加工班では、3年前から「もち米玄米」を原料とする醤油の開発に取り組んでいます。通常、醤油原料は大豆と小麦ですが、小麦の代替として「もち米玄米」を使用することで、「もち米玄米」の消費拡大を目指しています。

1年目はもち米玄米を使用した大豆麹の製造、2年目は諸味熟成に関する酵母や乳酸菌の研究、3年目は熟成した諸味を圧搾し、火入れすることで醤油の完成に近づいています。

＼遠農物語各SNSでも情報発信中！

https://twitter.com/enno_monogatari

https://www.instagram.com/enno_monogatari/

<https://www.facebook.com/enno.monogatari/>

<https://www.youtube.com/channel/UCc4Efra-oNOTNuZeif3s4CA/>

【ここが自慢】

本校の水田を活用して、遠別小学校5年生を招き、5月に田植え交流、10月上旬に稲刈り交流、そして11月には遠別農業高校で開催される生産物感謝祭において、餅つき試食交流を行っています。

この活動をとおして、小学生に楽しみながら水稻栽培全体を学習してもらうなど、食育活動にも取り組んでいます。



遠別小学校との交流

連絡先

代 表 者 名 : 芳賀 雄太さん／設立：1978年／会員：58名

住 所 : 天塩郡遠別町字北浜74番地

電 話 番 号 : 01632-7-2551

F A X : 01632-7-2376

E-m a i l : enbetsunougyou-z0@Hokkaido-c.ed.jp

U R L : <http://www.enbetsunougyou.hokkaido-c.ed.jp/>



植樹会の様子



天塩中学校での植育教育の様子

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体 民安ダム「サクラの森づくり」の会 【天塩町】

1万本のサクラの森を目指す

【はじまりは？】

酪農のまち天塩町において、国営事業により農業用ダムとして築造された「民安ダム」は、海岸から約4kmに位置しており、その恵まれた立地条件から、日本海と利尻富士を望むことができる素晴らしい景観を有しています。

ここに桜を植樹してダム周辺の環境整備を行い、天塩町のシンボルとして、また、町民の憩いの場として「サクラの森」を造ることを目的に活動を始めました。

さらに、次世代を担う子供たちへ、森づくりの引き継ぎを行うことを理念として活動を続けています。

【おもな活動】

毎年5月に行う桜の植樹会は今年度で25回目となり、会員のほか関係機関や地元中学生が参加し、これまでに2,000本を超える桜を植えています。当初参加した中学生も今では大人になり、更にその子供たちが植樹に参加するといった次世代への引き継ぎも進んでいます。

また、天塩中学校の総合学習の場として、植樹会や授業を通じて子供たちに森林の持つ重要性和水の大切さを教え、オフシーズンには周辺の保全活動を行って桜を管理しています。

1万本のサクラの森を目指すとともに、町内の公共施設にも植樹して、市街地にもサクラを広げていきます。

【ここが自慢】

桜の植樹と管理を行なうなど景観の美化活動によりサクラも順調に活着して育ち、民安ダムは天塩町民のみならず各地から来町される人々の憩いの場や安らぎの場として活用されています。

また、農業用ダムの良好な景観形成を図りながら、地域一体となった共同作業により森林資源の確保と保全を図っています。

開花時期には、ダム湖周辺を桜が覆うようになり、さらに「天塩青女俳句会」の方々による句碑が建立されるなど、桜の名所として多くの町民に愛される場となりつつあります。



さくら開花の様子

連絡先

代表者名：谷村 敏彦さん／設立：1999年／会員：30名

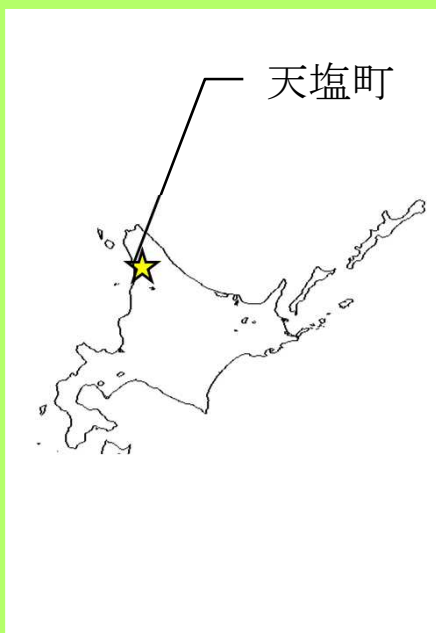
住所：天塩郡天塩町新栄通8丁目（天塩町役場内）

電話番号：01632-2-1001

FAX：01632-2-2659

E-mail：

URL：



べこちちFACTORY全景（酪農風景を意識した店舗）

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体

べこちちFACTORY

【天塩町】

新たなブランドを確立し天塩町の魅力を発信

【はじまりは？】

天塩町は酪農を基幹産業とする町ですが、天塩地域にはこれまで、酪農をアピールする地域特産の乳製品が無く、搾った牛乳をそのまま大手の乳業メーカーに出荷するだけでした。

そこで、この地域ならではの魅力ある乳製品づくりに取り込むことで、離農や後継者不足に少しでも歯止めがかかればと考え、地元産牛乳を原料に付加価値の高い製品づくりを通じて、天塩町の新たな特産品やブランドの確立、さらには雇用の創設も期待して、平成23年に留萌管内初の乳製品工房を設立しました。

【おもな活動】

自社(渡辺牧場)で生産された新鮮な生乳を使い、自然の風味と食の安全・安心にこだわった自家製チーズ、ソフトクリームなどを販売。チーズは、しょうゆ、ごま、とうがらしなどの多数の「さけるチーズ」や「モッツアレラチーズ」、「カチョカバロ」などを中心に製造。

生産段階から品質にこだわった無添加のソフトクリームや、「かぼちゃ」（遠別町）、「国稀の酒粕」（増毛町）、「宗谷の塩」（稚内市）などを使ったフレーバーアイスも製造し、地元小中学校の給食にも自家製のカップアイスが使用されています。



各種自家製品



自動販売機でも販売（道の駅てしお）

【ここが自慢】

【ノドが渇かないソフトクリーム】

原料となる牛乳は、両親と兄弟夫婦が経営する隣接の牧場で生産された生乳を毎日運び入れ、また、チーズやソフトクリームに入れる材料も「宗谷の塩」のほか、果実や野菜など地域の素材にこだわっています。

ナチュラルチーズは、日が経つごとに熟成していく味を楽しむことができます。

ソフトクリームは、保存料や香料、乳化剤、増粘剤などを使っていないため、とても手間がかかりますが、あっさりとした飽きのこない味になっています。

「食べた後でもノドが渇かないソフトクリーム」を一度召し上がってみませんか。



カチョカバロ



ソフトクリーム

連絡先

代表者名：渡辺 詩穂さん／設立：2011年／会員：3名

住所：天塩郡天塩町字タツネウシ3416-34

電話番号：01632-4-3553

FAX：01632-4-3553

E-mail：

URL：



会場（留萌地方卸売市場）の様子

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体
「うまいよ！ るもい市」実行委員会
【留萌市】

人情港町 うまいもん大集合！

【はじまりは？】

農業、漁業、水産加工業、その他食品産業など留萌地域における地場産業の異業種が連携し、地場産品の定期即売会を通じて商品のPRを図ることにより、地場産業・産品に対する消費者の理解と認識を深め、地域産業全体の消費拡大を図り、さらには「留萌」地域活性化に寄与することを目的に平成17年から開催しています。

地場産品の販売方法については、獲れたての活ウニや活ホタテ、鮮度抜群の甘エビなど、一般の小売店では購入できない本物志向を重視し、安全・安心な地場産品の提供に努めています。

【おもな活動】

留萌地域の旬の幸を消費者にPRする目的から、「うまいよ！ るもい市」はウニが解禁となり、果物や野菜が揃う7月に開催しており、地場産品の即売会のほか、留萌南部地域の出店者によるグルメ屋台なども開催しています。

4年ぶり開催の今年は、留萌産の糠にしん、ホッケ開き、増毛産サクランボ、小平産スイカなど、地元特産物を多数販売しました。



出店者による「グルメ屋台」

【ここが自慢】

会場である留萌地方卸売市場は、海を眺めながら地元の水産資源を使い、生産者の意向を反映した地場産品の定期即売会を行うほか、地場産業の異業種連携の取組により、異業種間のつながりを広げています。

「うまいよ！ るもい市」は、ただ単に入場者を増やすことが目的ではなく、来てもらった人にどれだけ楽しさを伝えられるかを重視して、このイベントをきっかけに「食」による知名度の向上を図り、周辺観光に結びつけられることを目指しています。



鮮度抜群の海産物とイベントの様子



連絡先

代 表 者 名 : 米倉 靖夫さん／設立 : 2005年／会員 : 18名

住 所 : 北海道留萌市大町2丁目3-1

電 話 番 号 : 0164-43-6817

F A X :

E-mail :

U R L : <https://www.rumoi-rasisa.jp/web/>